2016年度 氷見 朝日山公園 コミュニティデザイン

いよいよ2014年より3年間にわたって活動してまいりました朝日山公園コミュニティデザインの第1期が完了します。「フレンズ・オブ・朝日山」という新しい参加の仕組みを導入し、市民の皆様と共につくり続ける公園を目指して続けてきた活動は、全国でも話題になりました。

「朝日山ランドスケープ」実現のために、現地で考える〈ランドスケープWS（ワークショップ）〉、歴史・文化を考える〈地域史WS〉、公園づくりを通して人の絆を育てる〈コミュニティ WS〉という3つのテーマWSを並行して開催し、朝日山公園とそこから見える氷見市全体について様々な角度から学び、考え、実験を重ねてきました。

2016年4月には展望テラス付き公衆トイレの使用が供用され、シンボルツリーの寄贈を受けました。そして2017年7月、待望の休憩施設が完成し、現地での公園づくり、公園活用の可能性がさらに広がります。休憩施設は公園活用の拠点であると同時に、朝日山公園と氷見の未来について語らい、行動を起こす「未来づくりの拠点」でもあります。

第2期に進むにあたり、富山湾を望む美しい風景を眺めながら、市民の皆様の活動の輪をさらに広げ、氷見の歴史と文化を次世代につなげていきましょう。

フレンズ・オブ・朝日山

“Committee”から“Community”へ

（コミッティー（委員会）／コミュニティー）

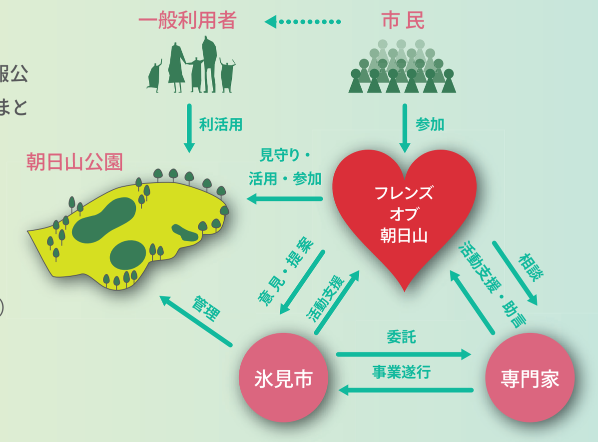
新しい朝日山公園の未来を検討する、市民に開かれた活動母体として〈フレンズ・オブ・朝日山〉を構想しました。公園のより創造的な利活用の可能性を考える市民が主役のコミュニティです。専門家と連携し「使うこと、考えること、作ること」が一体となった公園づくりを目指します。

朝日山公園整備コミュニティデザイン業務とは

新しい朝日山公園の設備・運営方法に関して広く市民の皆様に情報公開し、検討に参加していただくための市民懇談会を開催し、構想をまとめていく業務です。

「朝日山公園整備コミュニティデザイン業務」受託者

- ◎ 槻橋 修（神戸大学大学院工学研究科 准教授）
- ◎ 福岡 孝則（神戸大学大学院工学研究科 特命准教授）
- ◎ 松田 法子（京都府立大学大学院生命環境科学研究科 専任講師）
- ◎ 株式会社ティーハウス建築設計事務所
- ◎ Fd Landscape
- ◎ 神戸大学槻橋研究室 ／京都府立大学松田研究室



3つのテーマのワークショップ

《自然・文化・健康》3つのコミュニティと公園を考える視点

《ランドスケープ・地域史・コミュニティ》の3つをテーマとするワークショップ（市民懇談会／以下WS）を、市民のみなさんとともに開催してきました。

現地で体験的に公園を考える
ランドスケープワークショップ ♧

部屋を飛びだして現地で実際に自分たちの身体と心で朝日山公園の眺望や地形、街からのアクセスを体験し ながら公園整備について語り合うランドスケープワークショップを行い、レイアウトや公園のアクティビティについて話し合いました。

氷見の地域史に遡って朝日山公園と氷見市を考える
地域史ワークショップ ♢

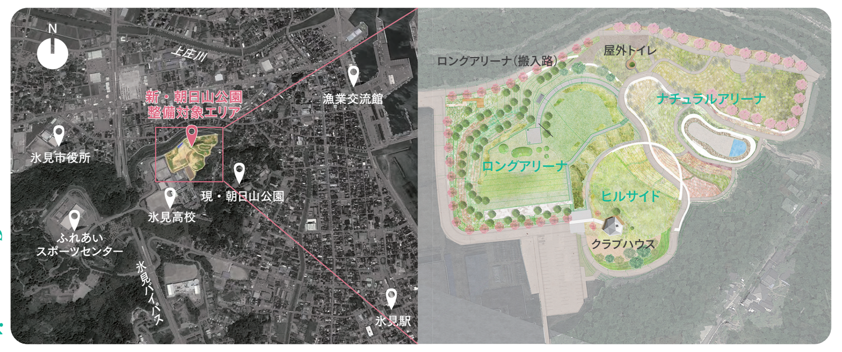
大伴家持が布勢水海の船上で和歌で氷見を詠んだように、地域史ワークショップでは縄文時代から現代まで積み重ね培われてきた歴史と文化について、地形図や古地図を、写真などの資料をもとにタイムスリップしながら氷見・朝日山を読み解いてきました。

人的エコシステムを構築する
コミュニティワークショップ ♡

新しい朝日山公園が担っていくべき役割や、公園全体の管理・運営の仕組み、そのための持続的な人のつながりについて検討しました。整備の順序や公園整備計画など、運営プランニングも含めた公園の将来像について議論を重ねつつ、具体的な公園の利用やその利活用についてイメージを重ねてきました。

2014年度

WS♡ 1/24 Community



2014年度｜第7回WS
朝日山公園全体図

面積7ha、高低差は約20mという、広くそして起伏に富んだ敷地のより多様で活発な利活用を目指し、公園を大きく「ヒルサイド」「ロングアリーナ」「ナチュラルアリーナ」の3つのエリアごとに捉え、それぞれのゾーンの役割や特徴、そして整備イメージについて提案しました。

WS♡ 1/25 Community

2014年度｜第8回WS
これからどうやって公園をつくっていくか考える

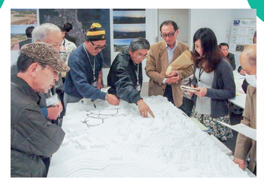
WS♡ 1/25 Community

2014年度｜第9回WS
朝日山公園の可能性を考える、創造的コミュニティの提案

WS♡ 11/23 Community

2014年度｜第1回WS
“岬”としての朝日山公園
“アリーナ”としての朝日山公園

WS♢ 11/24 Local History



2014年度｜第3回WS
模型の街を通じて見えてくる、氷見の過去・現在・未来

WS♧ 11/24 Landscape

2014年度｜第2回WS
公園を歩いて、場所と景色を体感しながら考える

WS♡ 12/21 Community

2014年度｜第6回WS
氷見高生が考える、“氷見・朝日山・私”のミライ

WS♡ 12/21 Community

2014年度｜第5回WS
朝日山公園へと続く、それぞれの“道”について考える

WS♢ 12/20 Local History

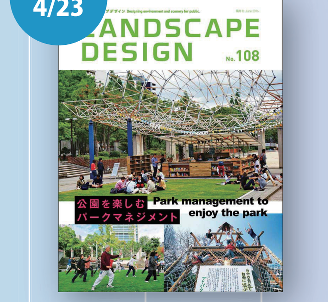
2014年度｜第4回WS
地図と古写真から読み解く、氷見と朝日山の歴史と文化

2015年度

f 7月

氷見の朝日山公園

メディア掲載 4/23



LANDSCAPE DESIGN No.108
公園を楽しむパークマネジメント
p028「氷見 朝日山公園
—市民参加による公園デザイン」

事例紹介 5月

「都市公園のストック効果を高めるための工夫事例」
（国土交通省）

WS♧ 6/20 Landscape

2015年度｜第1回WS
現場ウォッチ'15春“コスモスリング”づくり

WS♡ 6/21 Community

2015年度｜第2回WS
“屋外トイレ”・“クラブハウス”・“アリーナ”

Web掲載 7/31

特集・公園を変える民間の知恵
「オープンする2021年まで、市民がつくり続ける公園」
（日経BP社｜新・公民連携最前線）

WS♧ 8/22 Landscape

2015年度｜第3回WS
灯ろうで“夕涼み交流会”

WS♡ 8/23 Community

2015年度｜第4回WS
模型で“屋外トイレ”
“クラブハウス”について考える

WS♡ 10/3 Community

2015年度｜第5回WS
“秋桜野点”と“氷高祭の展示”

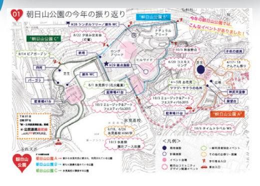
WS♢ 10/3 Local History

2015年度｜第6回WS
地図や古地図を使って「まち」→
←「朝日山」への道のりを考える

WS♡ 12/6 Community

2015年度｜第8回WS
“屋外トイレ”の報告と“クラブハウス”
“アリーナ”について考える

WS♡ 12/6 Community



2015年度｜第7回WS
新公園でのイベントと運営について考える

WS♡ 1/30 Community

2015年度｜第5回WS
クラブハウスの利用方法と必要な機能について考える

2016年度

供用開始 4/9

屋外トイレ

屋上テラス・シンボルツリーのある屋外トイレ。デザインやシンボルツリー樹種はワークショップで決定しました。
氷見漁港の守り神でもある唐島に呼応するように、新しい朝日山公園のランドスケープに浮かぶ“島”をイメージした屋上テラス。起伏に富んだ公園と富山湾へ広がる景色を楽しめます。朝日山公園の新たなシンボルとなる、象徴的な樹木としてエノキ（榎）を植樹しました。植樹するエノキは「東京氷見会」より寄贈していただきました。
屋外トイレは2015年12月に工事が開始され、2016年4月から利用できるようになりました。

WS♧ 6/5 Landscape

2016年度｜第1回WS
フレンズ・オブ・朝日山　新・企画会議

◎WS-1：フレンズ・オブ・朝日山 新・企画会議【ランドスケープWS】◎日時：16.6.5㊐ 10:00～12:00 ◎場所：氷見市役所201号災害対策室 ◎参加者：17名

新しい朝日山公園づくりのコンセプトを再確認し、休憩施設の具体的な使い方について議論しました。またロングアリーナの空間構成について課題や方向性を共有しました。

WS♡ 6/5 Community

2016年度｜第2回WS
みんなで朝日山公園をつくろう！

◎WS-2：みんなで朝日山公園をつくろう！【コミュニティ WS】◎日時：16.6.5㊐ 14:00～16:00 ◎場所：氷見市役所201号災害対策室 ◎参加者：17名

これまで行ってきたワークショップや取り組みを振り返っておさらいし、2016年度のワークショップへの課題や目標を話し合いました。グループワークでは、氷見のケータリングフードのアイデアを出し合いました。

WS♡ 8/7 Community

2016年度｜第3回WS
拠点施設建設とフレンズの今後の取り組み

◎WS-3：拠点施設建設とフレンズの今後の取り組み【コミュニティ WS】◎日時：16.8.7㊐ 13:30～16:30 ◎場所：氷見市まちづくりバンク ◎参加者：14名

第3回目となる本会は、拠点施設建設について設計の変更点を説明した。また、新しい朝日山公園の運営方法やプロモーションについて提案した。

WS♡ 10/2 Community

2016年度｜第4回WS
現地視察とHOME PARTY 企画会議

◎WS-4：現地視察とHOME PARTY 企画会議【コミュニティ WS】◎日時：16.10.2㊐ 13:00～16:00 ◎場所：朝日山公園・氷見市役所201号災害対策室 ◎参加者：24名

拠点施設のオープニングパーティーの予行演習を兼ねたイベント"HOME PARTY"（仮称）の開催予定地である新しい朝日山公園内のロングアリーナを中心とした現地視察を行った。その後地域おこし協力隊のアイデア提案や、ケータリングなど、イベント内容についてディスカッションした。

WS♡ 11/6 Community

2016年度｜第5回WS
新しい朝日山公園をみんなで作ろう!!

◎WS-5：新しい朝日山公園をみんなで作ろう!!【コミュニティ WS】◎日時16.11.6㊐ 14:00～16:00 ◎場所：氷見市役所1階地域協働スペース2・3 ◎参加者：16名

朝日山公園やフレンズの位置づけを確認し、拠点施設の工事報告を行った。新しい朝日山公園の整備についてや拠点施設の愛称ややりたいことについてディスカッションした。

WS♧ 1/28 Landscape

2016年度｜第6・7回WS
みんなで祝おう！新しい朝日山公園

◎WS-6：みんなでつくろう！朝日山公園の未来【ランドスケープWS】◎日時：17.1.28㊏ 13:00～14:30 ◎場所：氷見市まちづくりバンク ◎参加者：20名
◎WS-7：みんなで祝おう！新しい朝日山公園【コミュニティ WS】◎日時：17.1.28㊏ 14:35～16:00 ◎場所：氷見市まちづくりバンク ◎参加者：20名

本会では、前回の振り返りを行い、新しい朝日山公園の今後の位置づけや、ロングアリーナの進捗報告を行った。また、新しい朝日山公園のオープニングに向けての説明を行い広報活動ややりたいこと、周辺施設の役割についてディスカッションした。

WS♧ 3/20 Landscape

2016年度｜第8回WS
みんなでつくろう！新しい朝日山公園

◎WS-8：みんなでつくろう！新しい朝日山公園【コミュニティ WS】◎日時：17.3.20㊊ 9:00～12:00 ◎場所：氷見市役所1階地域協働スペース2・3 ◎参加者：16名

本会では、拠点施設の愛称や、新しい朝日山公園のオープニングに向けての検討、ロングアリーナの進捗報告を行った。後半は朝日山公園内で、ロングアリーナの可能性についてディスカッションした。

2017年度

完成 7/1

休憩施設

氷見の街と富山湾が眼下に見える丘の上の拠点施設として、ふさわしい形を市民ワークショップで話し合いました。富山湾の浮かぶ立山連峰は氷見市民にとってアイデンティティとも言える風景であり、朝日山公園からもそのスカイラインを望むことができます。立山連峰のスカイラインが延長してきたような形状を多面体として表現しています。また、利用形態がどのようにでも変えていけるように、フレキシビリティを持ったプランにするため、内部に構造の柱が落ちないようにすることを考え、鉄骨造としました。休憩施設が完成した事で、現地でのワークショップも可能になり、今後は隣接している氷見高校生も交えながら朝日山公園や氷見の未来を語り合う場として、公園づくりの活動を広げていきます。

メディア掲載 5/18

「街直し屋：まちとひとを再生させる仕事」
（リパブリックイニシアティブ 編集｜晶文社）

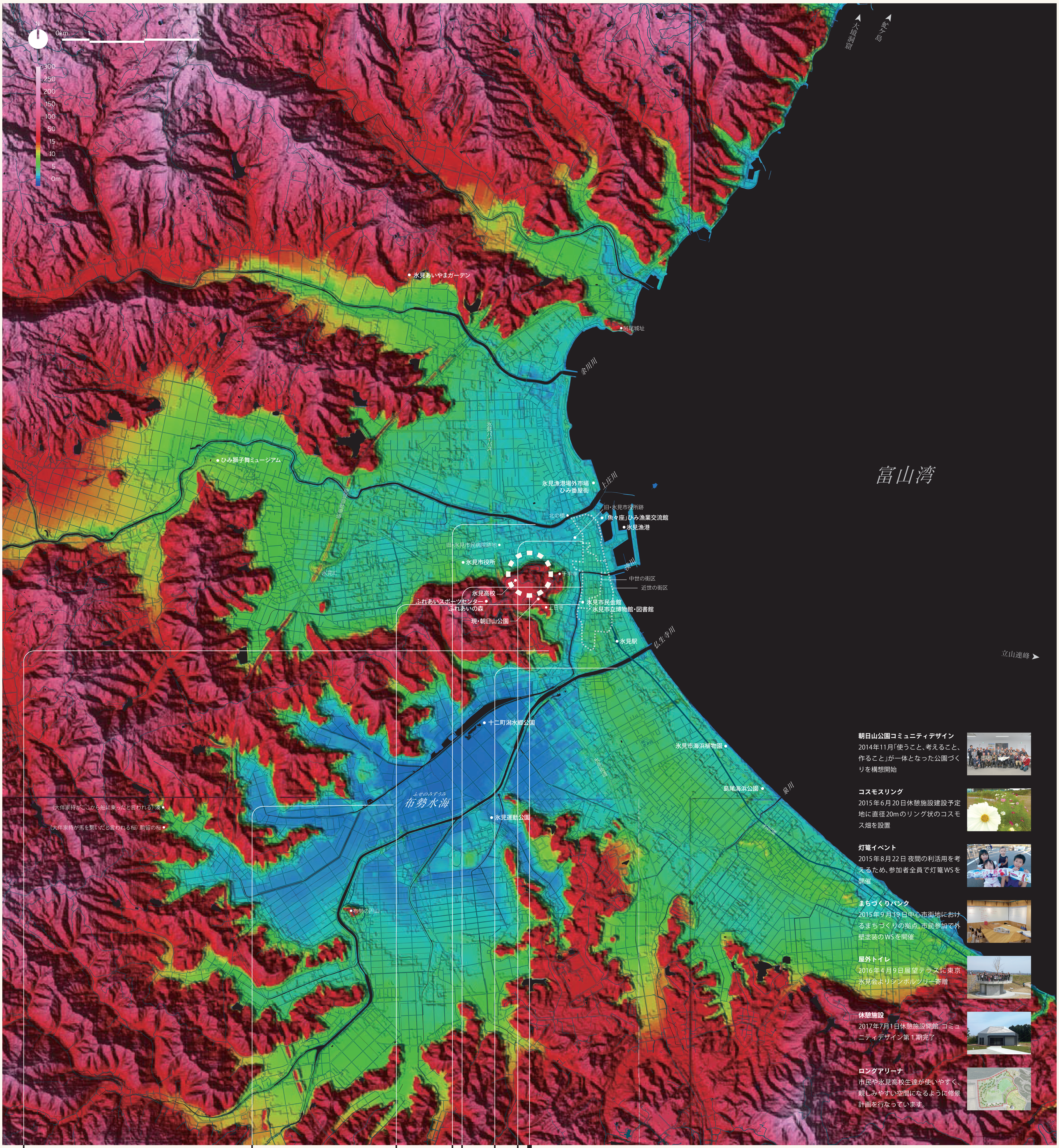
第2期計画予定ロングアリーナ

賑わいの中心となる活動的なエリア

もっとも広い平地のとれるエリアであり、また周りのなだらかな斜面は、グランドでの活動をゆったりと眺めるステージともなります。第2期はこちらのエリアを計画していく予定です。

2014 11 12 2015 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2016 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2017 1 2 3 4 5 6 7

「朝日山周辺 低地強調段彩図」国土地理院基盤地図情報を元に作成（松田法子 ＋ 京谷友也, 2014年）



布勢水海（ふせのみずうみ）｜奈良時代　ここは内海湖で、奈良時代には大伴家持ら国司らの春・夏の季節における遊覧地としも親しまれ、船で水海の各所を回りながら和歌を詠む、「岬巡り」が楽しまれた。「湖光」「川尻」「古江」といった水にちなんだ地名が今なお残る。

氷見宿市｜鎌倉後期　氷見の町の中央部を流れる川に大橋が架かり、北側に商業地の市や民家が集まり、南側に運輸業者の宿町が栄えた。また上日寺の発展は南宿の成長と一体のものであったようだ。

上庄川｜近世　北の橋の下を流れて富山湾に入る流路は町にたびたび水害をもたらしていたが、近世の改修で変更され、その後、河口部が湊となった。

湊川を軸とした町の展開｜近世　布施潟が富山湾に注ぐ湊川河口の両側に氷見の町並みが展開し栄えた。川沿いには漁師はもちろん、廻船 主・船宿の人々、そして蔵宿などが屋敷を構えた。

十二町潟の排水川建設｜明治元年　平安時代から江戸時代までの十二町潟の水は、湊川から富山湾に流れていたが、大雨のたびに湊川の氾濫が起こっていたため、明治元年に現在の排水路がつけられた。排水路は海岸沿いの砂丘上の土地を突っ切る形で流れている。

朝日貝塚｜縄文時代　縄文時代・弥生時代・古墳時代・古代・中世を通じて人々の営みの拠点であった。また富山湾外を含む海への眺望が特に良好な位置にあり、縄文時代の他の遺跡の眺望域も重ねていくと、富山県の海岸線、平野、富山湾内外のほとんどを見渡せる「眺望ネットワーク」が浮かび上がる。

昭和の大火｜昭和13年　伊勢町から出火した火は南東の風に煽られ、高砂町、地蔵町、川原町とたちまち燃え広がり、約1,500とが焼け落ちた。湊川の屈折地点に架けられている「復興橋」は焼野原からの再生を期してつけられた。

B.C.5000　A.D.0　500　1000　1500　2015

氷見 朝日山公園

旧石器時代より途切れることなく人々の生活が営まれてきた氷見。
そこでは古来からの歴史が積み重なり、
氷見独自の文化とコミュニティが培われてきました。
市街地の中心に「岬」のごとく海へと突き出る朝日山は、
長い歴史の中で常に氷見の街を見守る存在でもありました。
富山湾を背景に氷見の街とその歴史と文化を見渡す朝日山で、
新しい朝日山公園が生まれます。